

緊急時の
連絡先

火事・救急 119

警察 110

市役所	代表 下水道局	0942-85-3500 0942-85-3539
消防	鳥栖・三養基地区消防事務組合	0942-85-0119
警察	鳥栖警察署	0942-83-2131
電気	九州電力鳥栖営業所	0120-986-302
救急医療相談	小児救急電話相談	#8000 (携帯電話・プッシュ回線) 0952-24-2200 (プッシュ回線以外の固定電話) ※19時から翌朝8時(365日)
夜間の診療	久留米広域小児救急センター (聖マリア病院地域医療支援棟1階)	0942-35-3322 ※19時から23時(365日)
休日の診療	鳥栖市休日救急医療センター	0942-83-0119

非常持出品・備蓄品リスト

非常持出品・備蓄品の準備は防災対策の基本です。リストを参考に、家族構成に合わせて準備しましょう。
また、食品の賞味期限や電化製品の故障がないかを定期的にチェックすることも忘れずにしましょう。

非常持出品

あまり重い避難に支障が出るので、必要最小限にまとめ、すぐ取り出せる場所に保管しておきましょう。

ヘルメット・防災ずきん

落下物から頭を守るための必需品

リュック・サックなど

非常品を入れて両手が確保できるリュックサックなど

携帯ラジオ

※予備の電池も必要
小型で軽く、FMとAMの両方を聴けるものがよい

懐中電灯

※予備の電池も必要
停電時や夜間の移動に欠かせない。
できれば一人に一つ用意

生活用品

衣類、軍手、ナイフ、ライター、缶切り、簡易トイレ、タオル、雨具など

救急医薬品・常備薬

キズ薬、ばんそうこう、その他の薬など

貴重品

現金通帳、健康保険証、免許証(番号を控えたメモかコピー)、現金

水

持ち運びに便利なペットボトル入りを

非常食

缶入り乾パンなど、火を通さず食べられるもの

非常備蓄品

最低でも3日間は生活できるだけの量を用意しておきましょう。

非常食

缶詰やレトルト食品など、そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの

水

飲料水は一人1日3リットルが目安

工具類

スコップやロープなど

生活用品

カセットコンロとガスボンベ、毛布、衣類、トイレトペーパー、ドライシャンプー、ビニール袋など

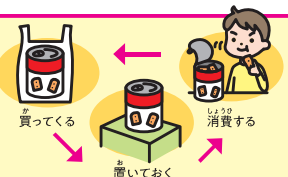
家族構成に合わせた準備

非常持出品・備蓄品は、アレルギー対応の非常食やペットフードなど、家族構成に合わせて必要ものを考えてみましょう。



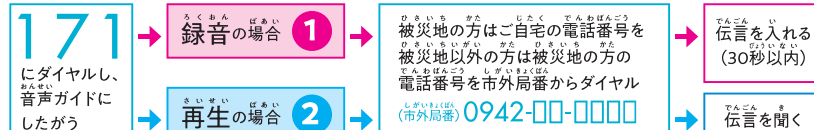
ローリングストック法

非常持出品・備蓄品などで保管する非常食などを、定期的に消費し、その分をあらためて補充することで、「食べながら備蓄する」ということができます。



NTT災害用伝言ダイヤル

災害時の家族などへの連絡にご利用ください。



このホームページは携帯電話からでもご覧いただけます。

※伝言の保存期間は録音してから2日(48時間)です。保存期間を経過した時点で自動的に消去されます。

詳しくは、<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

鳥栖市

洪水・土砂災害
ハザードマップ

目次

日頃の備え	1
避難について	3
避難所一覧	5
洪水	9
土砂災害	11
洪水・土砂災害ハザードマップについて	13
洪水・土砂災害ハザードマップ	15

連絡先書き込み欄

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校などの連絡先	電話番号
避難所	家族が離ればなれになった時の集合場所			